

●第2回魚部会が開催 9月14日(土)

10月6日に木津川でイタセンパラの復活を目指す取り組みとして外来種駆除を目的に掲げている「第2回魚釣り大会」のための部会が開催されて、7人が出席して当日の開催案を確認しました。24日には淀川河川事務所の環境課長さんがワンドの状況の視察に来ていただけるとのことで、大いに期待しているところです。本日の事務局会で昨年の第1回大会の経験から募集人数を出来るだけ絞って楽しんでいただけるようにするべきだとの振り返りから20組の募集に限定しようとの結論になりました。また釣り大会だから道具を統一した仕掛けで競っていただくことが最低基準だとの意見で使用する竿は主催者側で準備することになりまして、21日に現地で仕掛けを全部仕上げることになりました。魚部会のメンバーが集合して作り上げることにいたしました。指導は竹門先生にお願い致しました。もしご都合がつくようでしたらご参加ください。午後1時から開始、木津川右岸の玉水橋東詰め広場を予定しています。なお午前中は竹蛇籠の竹割(7m)作業を予定していますのでお手伝いいただけると有難いです。11月に竹蛇籠の設置を計画していますので、ぜひ一度ご参加ください。伝統的河川工法に基づいた川普請と言われる取り組みです。難しいものではなくどなたでも参加できる楽しい取組です。ご来場をお待ちしています。

●農園部会が開かれる 9月17日(火)

10時から12時過ぎまで、里山農園で世話係の森島さんや理事の播川さん、金田さん、堀さん達4人が集まって相談をいたしました。農園作業日は決められているが作業内容が明確になっていないので困っている、少なくとも三ヶ月前に計画が分かると参加の段取りが出来るとの要望がありました。また月2回の朝市の出店は効率が悪いので中止を検討すべきだとか、一人に負担がかかっているため無人化販売も検討課題だなどとの意見がありました。これに対してできていない事不十分所は理解しているのですが、人手不足が最大の課題であるといったことも話し合われました。こうした本音の意見が出されましても、後半のイベント計画に取り組んでいこうと農園部の計画がきめられました。

年	月	日	時間	イベント名 作業名	内 容	備考
2024	9	7	9:30		一言草刈り	
2024	9	中旬	9:30		大根種まき 3号地	
2024	9	24	10:00	同志社大学ボランティア来所	1樹木名板取付け 35種	雨天 竹サインペン
2024	9	24	9:30		2教育棟階段修復	松かさツリー
2024	9	24	9:30		3草刈り	活動紹介
2024	9	24	9:30		4教育棟物置整理整頓	
2024	10		9:30	冬野菜手入れ	白土山・教育棟	
2024	10			エンドウ豆種蒔き	手入	
2024	10			草刈り	猪防護対策 柵修理	
2024	11	2	9:30	水路整備	どんぐりの木 剪定	
2024	11	9	9:30	整理整頓	教育棟の物置場所	
2024	11	23	9:30	草刈り	5号地	
2024	11	30	9:30	作付け	玉ねぎ 300本	
2024	12	1	9:30	年末清掃	尾根筋ハイキングコース	
2024	12	14	9:30	冬の昆虫観察会		午後シンポジウム
2024	12	24	9:30	しめ縄づくり	みんなで製作	持ち帰り
2025	1	5	9:30	前日準備	竹筒づくり	50人分
2025	1	6	9:30	若菜摘み	七草摘み七草粥	50人限定
2025	2		9:30	種芋購入	ジャガイモ購入	2kg
2025	2	27	9:30	炭焼体験	炭焼 原木窯入れ 着火	
2025	2	27	13:00	シイタケ栽培	シイタケ菌打ち	
2025	3	下旬	9:30	水路整備	里山農園	
2025	3		10:30	草刈り	草内倉庫	

●第27回環境講演会 9月14日(土) 細谷先生に熱弁を振るっていただく



当日は京田辺市社会福祉センターで50人余の参加がありました。先生のお話は、日本国土における京都府は貴重な境目にある事。メダカの見分け方のポイントやホトケドジョウの標本から標本記述(何時 何処で 誰が)の大切さが強調されました。そして四つの危機が考えられるとして、開発、外来種問題、農薬、荒廃、地球温暖化を指摘されました。そして江戸時代に日本を紹介したイザベラバードの日本奥地紀行を紹介して、環濠集落としての京都府



の木津川市の上
 狢のお話、そし
 て一度は訪ねて
 みてほしいとし
 て奈良県大和郡
 山市の稗田環濠
 集落の見聞を強

く強調されました。そして私たちに表のように宿題を投げかけられました。この講演会には奈良県、大阪府からも、また京都府内近隣の市町村から、そして淡水魚に関心を持つ諸団体が多くの
 人に参加していただきまして有難うございました。ぜひ続いて開催したいものですね。

淡水魚研究 京都が重要

京田辺で講演会 生物多様性も考える



京都の淡水魚をテーマにした講演会が14日、京田辺市興戸の市社会福祉センターであった。市民ら約50人が淡水魚の進化を探る上で京都が重要な地域であることや、生物多様性を保全する際に人や文化とのつながりを考慮する大切さについて理解を深めた。

里山の自然を保全する活動を進めるNPO法人「やましろ里山の会」(同市の主催。毎年春と秋に講演会を開いており、今回は魚類学

と保全生物学が専門の細谷和海・近畿大名譽教授が講師を務めた。細谷さんは、淡水魚の進化を研究する上で京都が重要な地域だと説明し、由良川を例に「上流域はミナミメダカ、下流域はキタノメダカと分布が分かれていて、交雑があまりない。似ている別種という証拠」と語った。

その上で、生物多様性保全に向けて、開発による種の絶滅、里山・里地の荒廃、外来種問題・農業、地球温暖化の影響といった四つの危機があると指摘。近年は、生き物だけに焦点を当てる考え方から、文化の多様性と生物多様性に相関関係が

▲ 京都の淡水魚をテーマに語る細谷さん
 (京田辺市興戸・市社会福祉センター)

あるという「生物文化」として、「地域性も考慮しながら保全を進めた。」と呼びかけ (相見昌範)

京都新聞にて講演会についての
 記事が掲載されました。

やましろ里山の会の皆さんへのメッセージ

1. 採取した生物は外来種であろうと在来種であろうと標本にして残そう！
 例: KHPC-P-0001
2. 原生自然を探るより、身近な自然の生物多様性を調べてみよう！
3. 野生生物を家庭で飼育することは、必ずしも悪いことではない！
4. 開発と自然保護の望ましい関係を、現代農業の実態から考え直してみよう！
5. 京都の生き物の価値は図鑑だけでは語れない。歴史や文化の側面からも探ってみよう！
6. 古都に自然史博物館を設立するウェーブを高めよう！
7. 京都市動物園と京都水族館は展示一辺倒から脱却できるか、考えてあげよう！

●親子カヌー体験 9月16日(月) 30艇が笠置浜で楽しみました。感想文を紹介いたします。



感想文



はじめてカヌーに乗りました。小4の娘は1人乗りだったのでできるのか心配しましたが、転ぶくもせず1人でどんどんこいでいく姿にたのもしさを感じました。景色も美しく、貴重な体験ができました。途中で酔ってしまい早めに帰岸しましたがみなさまやさしく気をかけていただきうれしかったです。ありがとうございました。(母 45歳)

カヌーでいろいろなところにいけてよかったです。岩から川にとびこんで、びしょぬれになりました。(女 8歳)

カヌーは3回目だったからうまくいったし、いい天気だったのでよかった。(男 11歳)

子供とっしょに楽しめました。流れにさからってこぐのがむずかしかったです。(父 46歳)

2回目の参加であまり上流に行けなかったけど、今日のはじめておくまでいけたのでとてもよかった。



とてもたのしかったです。上までものぼれたので、最高でした。とびこみも、きもちよかったです。あつさもふきとぶようでした。たくさん遊ばせてくれてありがとうございます。また今度、機会があれば行きたいです。(女 12歳)

はじめてカヌーにのったけれど、あまりじょうずにのれませんでした。ほかの人がじょうずにしてがんばってバランスをくずさずにのれてうれしかったです。こぐのが手がいたかったです。最後までがんばってこいでとつてもたのしかったです。ありがとうございました。(女 8歳)

初めてのカヌー体験でドキドキしました。川の真中に行くことがなかったののでいい体験になりました。中々前に進まないのが難しかったです。(父)

貴重な体験で嬉しかったです。(男 11歳、母)

はじめてカヌーをやったけど、1人だったので少しさびしかったです。でも、たきの方に入って、流されて行くところがすこし楽しかったです。こぐのはとてもたいへんでしんどかったです。でもはじめてカヌーをして「楽しかったな」と思う気持ちの方が多かったです。ありがとうございました。(女 10 歳)

体験 2 回目に入れていただけて嬉しかったです！ありがとうございました。子供達が進んで嬉しかったです。(母)

貴重な体験を有り難うございました。親子共に楽しかったです。(母)

カヌーでおよいでしょうりゅうでおよぐのがたのしかった。あとじゃんぷしてとびこむのがたのしかった。(女 11 歳)

天候も良く気持ち良かったです。普段できないことなので、親子とも良い機会になりました。子供も楽しそうでした。(父 46 歳)

体験会、ありがとうございました。初めてのカヌーでしたが、説明も分かりやすく、とても楽しかったです。時間が少し長かったです。色々な所を移動出来たら良かったです。(父 45 歳)

思った以上に体力が必要で途中でおやすみしてしまいました。でも思った以上に操作も簡単で楽しかったです。(母 46 歳)

陸での練習では不安しかなかったけれど、思ったよりカヌーはたのしかった。流れの速いところでこぐのが大変で 5 回は流された。手首が痛くなりました。貴重な体験できました！(父)

カヌーにのって、おとうさんがしんぱいでした。でもカヌーにのってみると、とてもたのしかったです(女 7 歳)

カヌーでいきおいがあるところでながれにさからえず、そのままながされて少しイライラしたけど、とちゅうでいわの上に乗っていたへびにげんきづけられてしょうりゅうのほうまでいくことができた。(男 9 歳)

とびこみがなんかいもできたのでよかった。

